

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[制約事項](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[show コマンド](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、IPv6 の Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) を設定する方法について説明します。EIGRP は Cisco によって開発される IGRP の拡張バージョンです。ネットワーク内の宛先に最短パスを計算するために Diffused Update Algorithm (DUAL) に頼るのは強化された距離ベクトル プロトコルです。IPv6 のための EIGRP はそれらが別々に設定・管理することができる EIGRP IPv4 と同様にはたります。

前提条件

- EIGRPv4 の基本的な知識
- IPv6 当てることの基本的な知識

制約事項

IPv6 のための EIGRP を設定することにいくつかの制限があります; それらは下記のようにリストされています:

- インターフェイスはグローバル な IPv6 アドレスの使用なしで IPv6 のための EIGRP で直接、設定することができます。IPv6 のための EIGRP にネットワークステートメントがありません。
- Router ID は動作できる前に EIGRPv6 プロトコル インスタンスのために設定される必要があります。
- IPv6 のための EIGRP にシャットダウン機能があります。経路制御プロセスがプロトコルを作動させ始めるべき「no shut」モードにあるようにして下さい。

使用するコンポーネント

この資料のコンフィギュレーションは Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(15)T 13 のルータに Cisco 3700 シリーズに基づいています。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

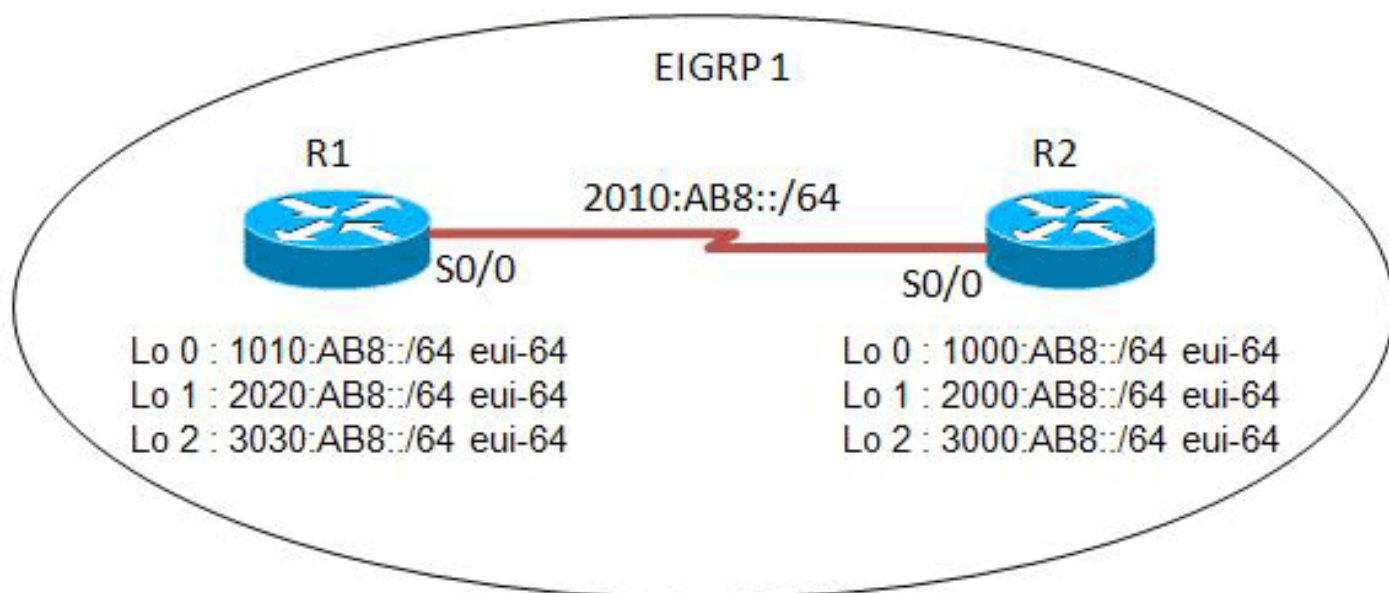
設定

この例では、2 人のルータは IPv6 アドレスで (R1 および R2) 設定されます。ループバックアドレスは両方のルータで割り当てられ、EIGRP1 にあるために設定されます。EIGRPv6 はこのコマンドを使用してインターフェイス レベルごとに有効になります: [IPv6 eigrp as-number](#)

注このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

ネットワーク図

この例では、次のネットワーク構成を使用しています。



設定

この例では、次の設定を使用します。

- [ルータ R1 の設定](#)
- [ルータ R2 の設定](#)

R1 の設定

R2 の設定

確認

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

[Output Interpreter Tool](#) (OIT) ([登録ユーザ専用](#)) では、特定の `show` コマンドがサポートされ

ています。 OIT を使用して、**show** コマンド出力の解析を表示できます。

show コマンド

提示 IPv6 EIGRPネイバはコマンド EIGRPv6 によって検出される隣接を表示する。

IPv6 EIGRPネイバを示して下さい

ルータ R1 ルータ R2

show ipv6 route EIGRP コマンドは EIGRP に特定のルーティングを含む IPv6 ルーティング テーブルのコンテンツを示します。

show ipv6 route eigrp

```
ルータ R1 R1#show ipv6 route eigrpIPv6 Routing Table -
12 entriesCodes: C - Connected, L - Local, S - Static, R
- RIP, B - BGP      U - Per-user Static route, M -
MIPv6      I1 - ISIS L1, I2 - ISIS L2, IA - ISIS
interarea, IS - ISIS summary      O - OSPF intra, OI -
OSPF inter, OE1 - OSPF ext 1, OE2 - OSPF ext 2      ON1
- OSPF NSSA ext 1, ON2 - OSPF NSSA ext 2      D -
EIGRP, EX - EIGRP externalD 1000:AB8::/64 [90/2297856]
via FE80::2, Serial0/0D 2000:AB8::/64 [90/2297856]
via FE80::2, Serial0/0D 3000:AB8::/64 [90/2297856]
via FE80::2, Serial0/0!--- This command shows IPv6-
specific EIGRP routes.ルータ R2 R2#show ipv6 route
eigrpIPv6 Routing Table - 12 entriesCodes: C -
Connected, L - Local, S - Static, R - RIP, B - BGP
U - Per-user Static route, M - MIPv6      I1 - ISIS L1,
I2 - ISIS L2, IA - ISIS interarea, IS - ISIS summary
O - OSPF intra, OI - OSPF inter, OE1 - OSPF ext 1, OE2 -
OSPF ext 2      ON1 - OSPF NSSA ext 1, ON2 - OSPF NSSA
ext 2      D - EIGRP, EX - EIGRP externalD
1010:AB8::/64 [90/2297856]      via FE80::1, Serial0/0D
2020:AB8::/64 [90/2297856]      via FE80::1, Serial0/0D
3030:AB8::/64 [90/2297856]      via FE80::1, Serial0/0
```

提示 IPv6 eigrp interface コマンドは EIGRP のために設定されるインターフェイスについての情報を表示するものです。

IPv6 eigrp interface を示して下さい

```
ルータ R1 R1#show ipv6 eigrp 1 interfaceIPv6-EIGRP
interfaces for process 1      Xmit
Queue Mean Pacing Time Multicast
PendingInterface      Peers Un/Reliable SRTT
Un/Reliable Flow Timer RoutesSe0/0      1
0/0      44      0/15      199      0Lo0
0      0/0      0      0/1      0
0Lo1      0      0/0      0      0/1
0      0Lo2      0      0/0      0
0/1      0      0!--- This command determines
which interface EIGRP is active.ルータ R2 R2#show ipv6
eigrp 1 interfaceIPv6-EIGRP interfaces for process 1
Xmit Queue Mean Pacing Time Multicast
PendingInterface      Peers Un/Reliable SRTT
Un/Reliable Flow Timer RoutesSe0/0      1
0/0      30      0/15      135      0Lo0
```

0	0/0	0	0/1	0	
0Lo1		0	0/0	0	0/1
0	0Lo2		0	0/0	0
0/1	0		0		

関連情報

- [IPv6 での EIGRP の実装](#)
- [EIGRP に関するサポートページ](#)
- [Cisco IOS IPv6 コマンド リファレンス](#)
- [IPv6 に関する技術サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)